

地震防災教育

家庭の備えから

防災・減災

発行所：はやぶさ地防会
 編集者：代表者 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878
 FAX 0561-51-2879

私たちはいま
 子供達に何を
 教えていかな
 ければならな
 いか。

地震防災の基本はお互いに助け合うことです。それと小さな時から自己管理と危機管理をしっかりと学ぶことです。この行動の基本を学ぶことで体がすべて憶えています。この繰り返し行動が実は大変大切なことです。



避難訓練で子供達は合図の笛がなるまで指定の場所でジーンと待っています。

中庭に先生と一緒に遊びます。一目散かに逃げよ。よかったです。

個人の家では、
 ①とりのあえず寝室の安全は確保
 ②家の中で固定する家具
 ③寝室にあるタンス、木棚
 ④台所にある食器棚、冷蔵庫
 ⑤リヒンクのTV、サイトボード
 ⑥玄関の靴箱など
 ⑦仏間の仏壇など
 ⑧ピアノ
 高層階に行けるほど転倒落下移動して割れかた多くなると思います。これは長周期地震動が一瞬と考えられます。

あゝ地震、そのときどうするかの、聞いたことがありませんか？

①丈夫な家具に身を寄せろ。
 ②身を隠して頭を保護する。
 ③あわてて外に飛び出さない。
 ④フラッシュライトの始末。
 火が出たら素早く消火。



「笛が鳴りました」全員机の下へ避難
 「数秒、おみごと全員セーフです」

